



CSだより

令和8年3月26日
学校運営協議会発行
中能登中学校
第11号

第3回 学校運営協議会を開催しました 〈2/13〉

水谷内校長・竹下教頭から教職員アンケートや保護者アンケートの結果をもとに、生徒の学校生活の様子や課題について、説明がありました。多くの項目で肯定的な回答が見られる一方で、スマートフォンなど通信機器の使用時間の増加や家庭学習習慣の低下、SNSをきっかけとしたトラブルなどが今後の課題として共有されました。

学習支援活動では、家庭科の調理実習やミシン作業の授業に、たくさんの地域サポーターの方に参加していただき、生徒一人ひとりに寄り添った丁寧な指導を行っていただきました。委員の皆さんから、「専門的な知識を持つ地域人材の活用は、地域にとっても、子どもたちにとっても、大変有意義なもの！今後も継続して行ってほしい！」との意見が出されました。

また、部活動の地域展開についても報告があり、地域クラブの立ち上げや外部指導者の協力など、地域と連携した取組が進められています。指導者不足や指導者負担の増加、活動費や活動場所などの課題についても共有され、改めて地域全体で子どもたちの活動を支えていく必要性が確認されました。

今後もコミュニティ・スクールの取組を通して、地域の皆さんと一緒に、子どもたちの学びと成長を支えていきたいと考えています。引き続き、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします！



あなたも参加してみませんか？

地域学校協働活動サポートでのボランティアを募集しています！
年齢・性別・住所も問わず、特別な資格も不要です。教育やボランティア活動に意欲と関心がある方、「私にも何かできる？」と思われた方、お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先 中能登町教育委員会(ラピア鹿島内) TEL 0767-76-1900

※二次元コードから中能登町ホームページの「地域学校協働活動サポート人材バンク」のページに移動できます。



～部活動地域展開～ 子どもたちの活動環境 「どう守る？」

全国的に部活動の地域展開が進められる中、子どもたちの活動環境についてさまざまな声が聞かれています。中能登町でも、指導者や関係者から次のような課題が挙げられています。

- 子どものスポーツ人口が減っている
- 文化部も含め、活動の受け皿が足りない
- 指導者の確保や育成が難しい
- 運動が得意な子だけが参加しやすい環境になりがち
- 保護者の送迎や当番などの負担が大きい
- 用具代や遠征費など、家庭の経済的負担が大きい
- 学校・地域・団体の連携が十分ではない

一方で「活動環境として、これからこんなことができたらいい」という声も多く聞かれています。

- 幼い頃からいろいろな活動を体験できる場
- 勝つことだけでなく、楽しむスポーツの機会
- 得意・不得意関係なく誰でも参加できる環境
- 子どもたちを支える指導者が育つ仕組み
- 指導者や保護者の負担を減らす仕組み
- 子どもから大人まで一緒に楽しめる場

子どもたちにとって、「活動が楽しい！」と思える環境づくりは、学校・地域・家庭が一体となり、構築していくことが重要だと考えています。地域全体で互いに手を取り合い、子どもたちの成長を支えられる環境を整備できるよう、今後も協議を進めていきたいと思っています！！

調理実習でリフレッシュ！ 〈2/2～2/5〉 3年生

3年生は「わらび餅」作りに挑戦しました。

食生活改善推進協議会さんにサポートしていただきながら8グループに分かれて作業をして、美味しいわらび餅が完成しました。

生徒たちは自分たちで作ったわらび餅を試食し、「むっちゃ美味しい！」「これ、家でも作れるかも☆」と、受験の合間にリフレッシュできたようでした。



食生活改善推進協議会の皆さん、ありがとうございました。